

2023年3月期第2四半期連結決算に関する 補足説明資料

証券コード：6745

2022年11月4日



2023年3月期第2四半期 連結決算概要（サマリ）

(百万円)	22/3月期 2Q累計実績	23/3月期 2Q累計予想	23/3月期 2Q累計実績	対前年同期比	対予想比
売上高	35,810	37,000	37,662	1,852 ※1 1,079	662 ※1 323
営業利益	1,298	700	635	△ 662	△ 64
営業利益率	3.6%	1.9%	1.7%	△ 1.9	△ 0.2
経常利益	1,301	700	1,060	△ 241	360
経常利益率	3.6%	1.9%	2.8%	△ 0.8	0.9
親会社株主に帰属する四半期純利益	955	500	841	△ 114	341
親会社株主に帰属する四半期純利益率	2.7%	1.4%	2.2%	△ 0.4	0.9
為替レート（円/USD）	109.81	120.00	134.03	※2 24.22	14.03
為替レート（円/GBP）	152.49	160.00	162.93	※2 10.44	2.93
為替レート（円/GBP）ケンテック ※3	149.79	160.00	159.57	※2 9.78	△ 0.43

※1 カッコ内の数値は為替影響額を除いた値を示しています。

※2 為替レートの対前年同期比、対予想比のプラス表記は円安を示しています。

※3 ケンテック エレクトロニクス リミテッド（Kentec Electronics Ltd.）は12月期決算のため、第2四半期（1-6月期）の為替レートを適用しています。

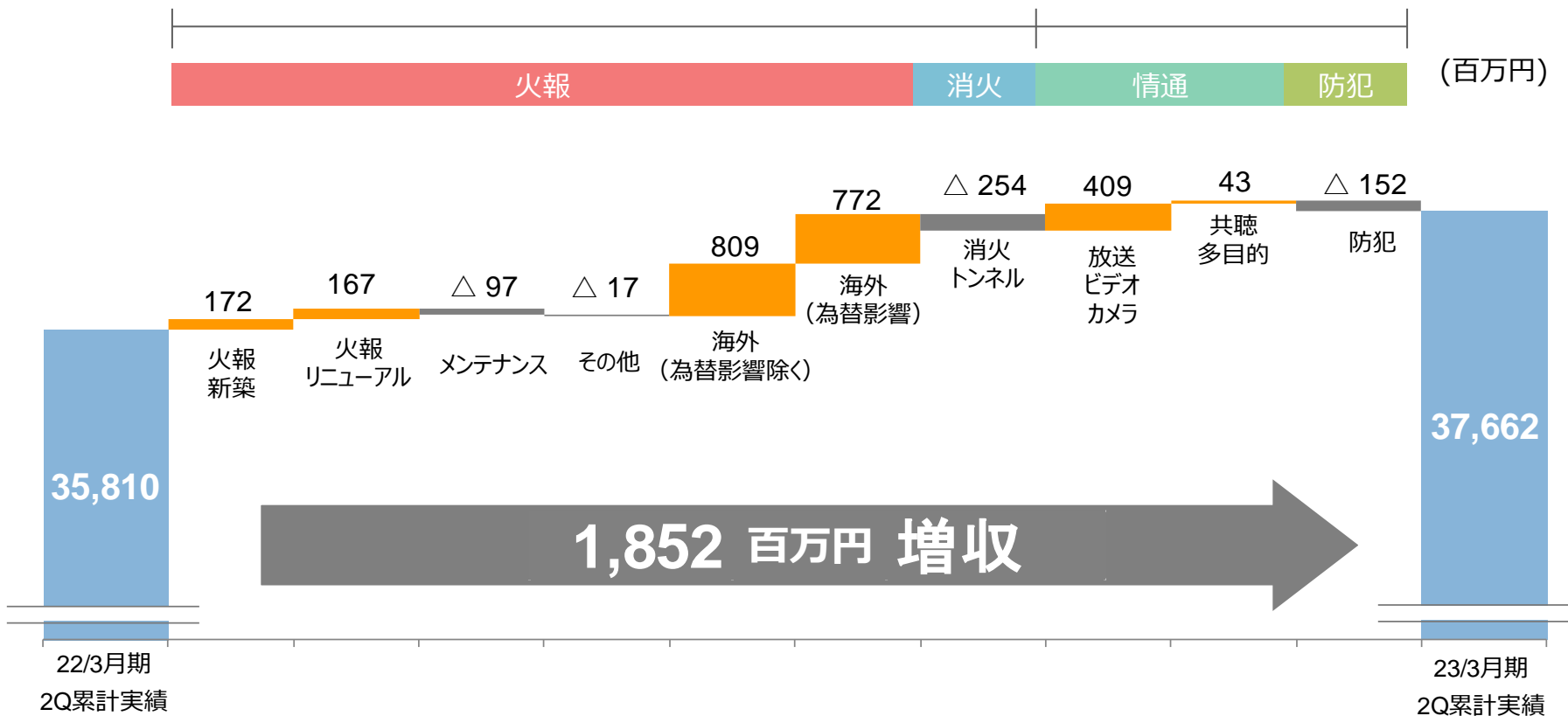
ポイント

売上高

- ✓ 対前年同期比で増収となった。
- ✓ 増収を牽引したのは、海外事業において当社製品需要が高水準を維持しているのに加え、システム販売拡大施策の成果が引き続き表れていることによるもの。また為替レートの円安進行も業績に寄与した。
- ✓ 国内事業においても堅調に推移し、対前年同期比では増収となっている。

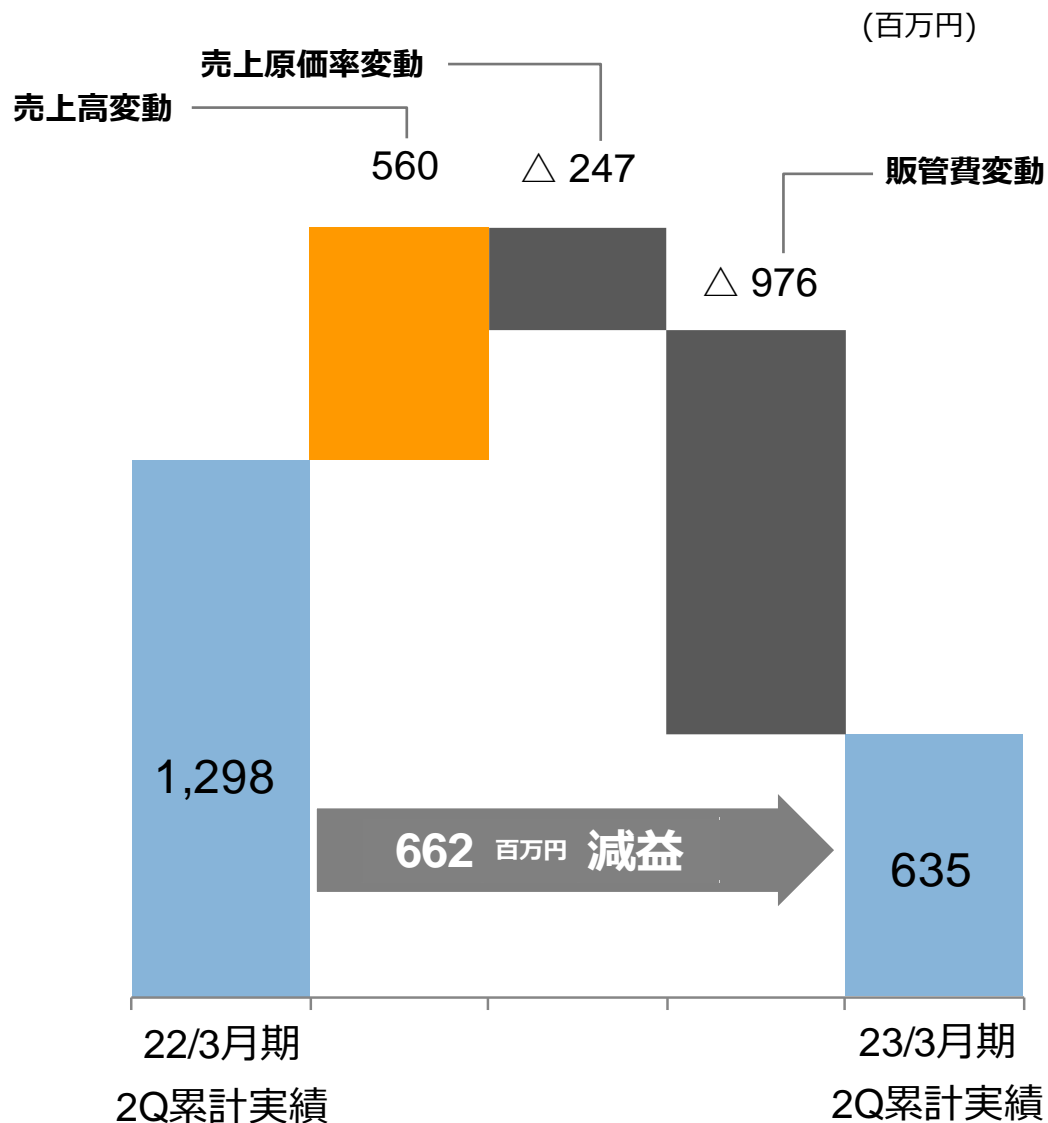
営業利益

- ✓ 売上高の増加による増益分があったものの、販管費の増加により減益となった。



ポイント

- ✓ 海外1,581百万円の増収要因は、システム販売拡大施策の成果が表れていることによるもの。その内、為替影響は772百万円。
- ✓ 国内においては、主に放送設備が増収となった。一方でトンネル設備の減収については昨年度の大型案件売上計上の反動減によるもの。



売上高変動

- ✓ 主に海外事業の順調な伸長によるもの。
- ✓ 為替レートの円安進行も寄与。

売上原価率変動

- ✓ 火災報知設備における売上原価率悪化が主要因。これは比較的low採算大型案件の戦略的受注によるもの。
- ✓ 原材料調達価格の上昇の影響も見られる。

販管費変動

- ✓ 経営計画に基づく開発案件の進捗や採用活動の強化により増加。

主要セグメント利益増減額

火報	△5.0億円
消火	+0.5億円
情報通信	+1.6億円
防犯	△1.7億円

※火報のうち、海外分は△0.9億円
 ※全社共通費影響△2.1億円

(百万円)	23/3月期 2Q実績		対前年同期比	
	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	37,662	100.0%	1,852	5.2%
国内	29,661	78.8%	270	0.9%
海外	8,000	21.2%	1,581	24.6%
			※1 (809)	(12.6%)
北米/中南米	1,179	14.7%	347	41.9%
			※1 (134)	(16.2%)
アジア・パシフィック	1,537	19.2%	146	10.5%
			※1 (△78)	(-5.7%)
欧州/中東/インド	3,747	46.9%	676	22.0%
			※1 (436)	(14.2%)
ケンテック	1,537	19.2%	410	36.5%
			※1 (316)	(28.1%)

為替レート	22/3月期 2Q実績	23/3月期 2Q実績
USD	109.81	134.03
GBP	152.49	162.93
GBP (ケンテック) ※2	149.79	159.57

※1 カッコ内の数値は為替影響額を除いた値を示しています。

※2 ケンテック エレクトロニクス リミテッド (Kentec Electronics Ltd.) は12月期決算のため、第2四半期 (1-6月期) の為替レートを適用しています。

ポイント

- ✓ 対前年同期比では全地域で増収となったが、為替影響を除くとアジア・パシフィックのみ減収となった。これは、東南アジア地域において高い需要があるものの、部品調達難に伴う同地域での主力製品の欠品による機会損失が影響した。
- ✓ 為替影響を除いた増減率ではケンテックの増加幅が最も大きい。パネルとセンサーをセットで販売するシステム販売の成果が出ている。

2023年3月期第2四半期 連結受注高及び受注残高の概要

(百万円)	22/3月期 2Q実績		23/3月期 2Q実績		対前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
受注高	46,946	100.0%	49,504	100.0%	2,557	5.4%
防災事業	39,654	84.5%	41,790	84.4%	2,136	5.4%
火災報知設備	33,592	71.6%	36,304	73.3%	2,712	8.1%
消火設備	6,062	12.9%	5,486	11.1%	△ 575	-9.5%
情報通信事業等	7,291	15.5%	7,713	15.6%	421	5.8%
情報通信設備	4,763	10.1%	5,316	10.7%	552	11.6%
防犯設備等	2,527	5.4%	2,397	4.9%	△ 130	-5.2%
(うち海外)	6,419	13.7%	8,000	16.2%	1,581	24.6%
受注残高	33,874	100.0%	34,596	100.0%	722	2.1%
防災事業	28,477	84.1%	28,620	82.7%	142	0.5%
火災報知設備	18,766	55.4%	19,802	57.2%	1,035	5.5%
消火設備	9,710	28.7%	8,817	25.5%	△ 893	-9.2%
情報通信事業等	5,396	15.9%	5,976	17.3%	579	10.7%
情報通信設備	3,868	11.4%	4,285	12.4%	416	10.8%
防犯設備等	1,528	4.5%	1,691	4.9%	162	10.7%
(うち海外)	-	-	-	-	-	-

ポイント

受注高

- ✓ 火災報知設備は国内及び海外ともに増加。
- ✓ 国内の火災報知設備は対前年同期比で1,130百万円増加。主にメンテナンス及び火報リニューアルが増加した。

受注残高

- ✓ 受注高の増加により、対前年同期比で前年以上の受注残高が確保できている。
- ✓ 消火設備は、主にトンネル非常用設備が減少。

この資料に掲載されている情報は、あくまで当社をより理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。

また、掲載されている情報は常に最新情報を反映しているものではなく、今後予告なしに内容変更または廃止される場合がありますので、予めご了承ください。

お問い合わせ先

ホーチキ株式会社 経営企画室
石井

TEL 03 (3444) 4115

E-mail team_ir@hochiki.co.jp